

入間市長賞

税金の必要性

豊岡中学校 三年 瀬川 なつみ

税金。この言葉と意味を初めて知った時の私は、そんなもの本当に必要なのかな、働いている人は自分で頑張ってお給料を得ているのにそこから国のためにお金を払わなければいけないのだろうとずっと考えていました。しかし、その頃より大きくなった今の私は税に対する考え方が変わりました。税は私たちにとってとても大切なものだと思います。

私には障害をもった妹がいます。妹は会話をする事や着替えをする事など私たちが普段当たり前のようになっている事が自分一人ではできません。なので普段は特別支援学校に通っています。また、放課後や休日には何か所かの児童発達支援の教室に行っています。よく考えると、妹がこのような所に通えているのも税があつての事です。もし税がなかったら通院した時のお金やこれらの施設に通う事にもたくさん費用がかかってしまいます。そうすると妹が施設に行く事ができなくなると同時に私も学校へ行けなくなってしまいます。また、家族が発熱など体調不良になった時にも病院に行く事、みんなで旅行をする事などとてもできません。もし税がなくなつたら。この事を想像するだけでとても恐ろしいです。

このように私はとても税金に助けられて生活しています。普段、買い物をしている時に払っている消費税もその他の様々な税金も、

たくさんの人の役にたっているのだなと改めて考え直す事ができました。これから先、日本がもっと素晴らしく、みんなが幸せに生活できるためには全員が平等に税金を払う事が大切だなと思いました。また、みんなが集めた税金の使い道を決める議員さんには責任をもつてみんなのためになるよう大事に税金を扱ってもらいたいです。